

※根拠資料も揃う場合は併せて提出  
※令和4年申請と令和5年申請をまとめて報告

様式第12号(参考様式第15号)

中間報告書 記入例

令和5年〇月〇日

秋田県農業再生協議会長 会長 **佐竹 敬久** 様

所在地 **秋田県山王4丁目1-1**  
取組実施者名 **秋田総合肥料(株)**  
代表者氏名 **代表取締役 秋田 太郎**

令和5年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知）第14の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

取組の実施状況

取組メニュー	取組の実施状況（例）
<b>土壌診断による施肥設計</b>	<b>土壌診断を行い施肥設計を行った結果、P、Kなどが過剰な場合は1～2割減肥を行っている。 取組前に比べ土壌診断件数が〇割増加した。</b>
<b>生育診断による施肥設計</b>	<b>生育診断を行い、施肥設計を〇件行った。 リモートセンシングを利用した生育診断を実施中。</b>
<b>堆肥の利用</b>	<b>取組前から堆肥利用が〇%増加している。</b>
<b>低成分肥料(単肥配合を含む)の利用</b>	<b>低成分肥料（P、Kが減）の〇〇（銘柄名）に切り替えて利用が取組前より〇%増加した。</b>
<b>可変施肥機の利用</b>	<b>可変施肥機能付き田植機を〇台新たに導入し、合計〇台が稼働している。</b>
<b>局所施肥の利用</b>	<b>局所施肥機の利用面積が〇haと、取組前から〇%増加している。</b>
<b>地域特認技術の利用(稲わらのすき込み)</b>	<b>稲わらのすき込みを行うほ場の面積は、〇ha 拡大(維持)している。</b>

(注)

- 取組メニューには、取組実施者において取り組んでいるメニューを記入し、適宜、行を追加すること。
- 参加農業者が、中間期間までにどのような取組を行ったのか、また、取組前と比べてどの程度取組が進んでいるか、使用記録等を参照し記入してください。